

基本情報						
教科・科目		高3・数学Ⅲ 標準	・授業で使用するもの ・数学C Standard(東京書籍) ・ノート ・iPad			
担当者		時國 雅史				
評価割合(試験:試験外)		試験:6割 試験外:4割	試験は、単元目標および<知技、思判表、主体>の3観点に沿って出題する。			
年間を通じて教科で培う力		鍛錬(知識及び技能)	具体的な事柄や事象についてモデル化する、一般化する、批判的に捉えるなど、事象を数学的に解釈し、数学的に表現、処理する力を培う。また、多様な事象を数学的に表現・処理するために必要な式の計算の仕組みや関数、図形の性質等についての理解を深める。			
		理知(思考力・判断力・表現力等)	直観や論理的な思考をもとに、事象を定義化したり定理を導いたりしながら課題の解決を図るとともに、多様な考え方について論理的整合性について議論し、その正誤について知的なコミュニケーションを通して受け入れることができる。			
		探求・叡智(主体的に学習に取り組む態度)	社会での数学の役割に気づく、数学的な思考のよさを実感することを通して、数学の学習の意義を高めながら、自身で課題設定を行い、主体的に学習する態度を養う。			
学習情報						
月	回	単元(学習)目標	単元目的(到達状態)	学習内容	活動内容	評価方法・ポイント
4	7	複素数と複素数平面が関数であることを理解する。	・複素数平面と複素数の極形式、複素数の実数倍、和、差、積および商の図形的な意味を理解している。 ・複素数平面における図形の移動と関連付けて、複素数の演算や累乗根などの意味を理解すること。	・複素数平面と複素数の1対1対応 ・複素数平面における複素数の加法減法の意味 ・複素数平面における複素数の乗法除法の意味 ・方程式の解と複素数平面における図形の関係	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組 ・授業開始時の復習プリント
5	11	複素数と図形の対応を理解する。	・任意の直線を複素数を用いて複数の方法で表すことができる。 ・任意の円を複素数を用いて表すことができる。	・垂直二等分線の性質を利用した直線の、複素数による表現 ・極座標表示を流用した直線の、複素数による表現 ・ベクトル方程式と同様の発想による円の、複素数による表現	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組 ・授業開始時の復習プリント
6	定期試験① 令和8年 6月3日—6月5日)					
6	12	図形から図形への写像を複素数を用いて理解する	・特に一次分数変換を用いて、図形から図形への写像を理解する。 ・一次分数変換において直線と円の関係を理解する。	・一次関数による図形から図形への変換 ・単純な分数関数による図形から図形への変換 ・一次分数変換による図形から図形の変換の数式的処理 ・一次分数変換による図形変換と各演算の対応	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組 ・授業開始時の復習プリント
7	7	入試問題演習	・数学ⅠⅡⅢABCの分野に関する基本的な入試問題に対応できるようになる。 ・共通テストに対応できるようになる。	・実際の入試問題に関する演習 ・共通テスト対策演習	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組
7	定期試験② 令和8年 7月15日—7月17日 範囲)					
8	-					
9 10	18	入試問題演習	・数学ⅠⅡⅢABCの分野に関する実際の入試問題に対応できるようになる。 ・共通テストに対応できるようになる。	・実際の入試問題に関する演習 ・共通テスト対策演習	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組
10	定期試験③ 令和8年 10月21日—10月23日 範囲)					
11 12	15	入試問題演習	・数学ⅠⅡⅢABCの分野について生徒に応じた大学の入試問題を解けるようになる。 ・共通テストに対応できるようになる。	・実際の入試問題に関する演習 ・共通テスト対策演習	・講義 ・プリント演習 ・グループワークによる問題解決	・講義への応答 ・授業内プリント、グループワークへの取組
12	定期試験④ 令和8年 12月9日—12月11日 範囲)					